



JA共済 presents

# なるほど 交通安全

交通ルールや道路事情、交通安全に関する最新トピックスなどを毎週わかりやすく紹介します。



## 第224回 ヒューマンエラー

2019/07/12

うっかり気がつかない、認識違い、動作の間違い。  
人間はミスをするもの。しない人はいません。

ただ、それがクルマの運転でのこととなると  
些細なミスが大きな事故に繋がることもあります。  
今週は『ヒューマンエラー』がテーマでした。



アメリカ運輸省が2015年に発表した全米で起きた交通事故の調査結果。  
事故原因の94%がドライバーに起因するとしています。  
他は自動車2%。環境2%。不明2%。

事故の要因は1つに限られないことも多いなどの観点から  
この統計を疑問視する意見もありますが94%というのは多いです。

一方、日本の運輸省は「ヒューマンエラー事故防止のための  
予防安全型技術導入ガイドライン」で交通事故に関わる  
「ヒューマンエラー」の定義を

人と機械が協同して目的を達成するためのシステム  
(ヒューマンマシンシステム)の中で、  
人に期待されたパフォーマンスの水準を満たすことに失敗したため  
システム全体がトラブルを起こしたり、  
システムダウンになったものをいう

としています。  
そして、このガイドラインでは・・・

状況を的確に把握する手がかりとなる情報が、  
運転者の目の前にすべて提示されていても、  
運転者は状況認識に失敗することがある

と、指摘します。  
その上で・・・

運転は、認知→判断→操作の一連の繰り返し。  
その過程で「認知」が不完全なら、  
それに引き続く「判断」は正しくありません、  
「操作」も状況にそぐわない不適切なものになる可能性がある  
その意味で「認知」は全ての基本であるということが出来る

と、しています。  
運転に際しては、まず「認知」の部分で間違えない。  
このことを心にとめておいてください。



去年、日本で死亡者が発生した交通事故は3,449件。  
かなりの割合で車の運転者には法令違反が見られます。  
その中には多くのヒューマンエラーのあることが想像されます。

どんな法令違反が多いのか？

多い順に挙げると

【漫然運転】 → ぼんやりとした状態で運転すること

【運転操作不適】 → ペダルの踏み間違い、ブレーキ操作の不適、  
ハンドル操作が適切でないなど運転上のミス

【脇見運転】

【安全不確認】 → 必要な安全確認を怠った

【歩行者妨害など】

【最高速度違反】

【信号無視】

「ヒューマンエラー」は、いま様々な分野で考えられている課題。  
その解決の研究もされています。

「ヒューマンエラー」の原因となるパターンから  
クルマや二輪の運転に関わるものを拾うと・・・

【無知・経験不足】 → 交通ルールを十分に理解していますか？  
運転に不慣れなことを自覚していますか？

【慣れ】 → 運転に慣れた人にもヒューマンエラーはあります  
それは「慣れ」によって間違いが引き起こされるからです

【不注意】 → クルマ、二輪の運転時には、運転に集中し  
周囲の状況に細心の注意を払いましょう

【機能低下・疲労】 → 体調の自己管理をしてコンディションを整えましょう

どんなドライバーも、いま挙げた原因には、  
いくつか心当たりがあることでしょう。  
そこから起こる「ミス」が重大な交通事故を起こしかねないことを認識しましょう。

ドライバーの皆さんは自身の性格、  
「怒りっぽい」「すぐ気が散る」など  
運転に影響がありそうな自分の性格をいちど省みて下さい。  
また、運転の癖を見つめ直して見てください。

その上で、毎日の運転をする時には、  
自分の運転技術を過大評価しない。  
事故なんて起こすはずがないと過信しない。

同じ道を通っていても同じシチュエーションは2度とない。  
いつも注意深さを忘れず、ハンドルを握ってください。  
そして、疲れている時や気になることがある時は運転を控えましょう。